

JRの業務外注化を止めるためのニュースです。感想や意見、現場の情報などをお寄せ下さい。(メール) dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

千葉支社が87人の要員削減を提案

強制出向にNOを!

幕張、京葉、習志野、銚子の検修・構内業務を外注化

検修・構内職場で働くすべての労働者の皆さん。

千葉支社が7月24日、検修・構内業務の外注化に向けて87人の要員削減を提案しました。

提案では、幕張車両センターは63人、京葉車両センター8人、習志野運輸区11人、銚子運輸区5人の削減です。87人もの労働者が千葉鉄道サービスへの出向の対象となっています。(下表/業務委託提案に伴う要員削減数)

今回の提案は、構内業務が外注化の中心となっており、出向になる労働者と、ならない労働者の分断を狙っています。

外注化の扉が開けば

しかし、いったん外注化の扉が開けば、必ず全面外注化まで進みます。構内計画業務も1年後に委託を実施すると明言しています。いずれは新系列の保全検査なども

外注化されるのは明らかです。

会社は、さしあたり外注化と強制出向の突破口をつくるための策として、出向者を選別し、職場を分断しようとしています。職場の全員で反対の声をあげる動きを弱めようとしているのです。会社の狙いはあくまでも検修・構内業務のフルアウトソーシング(丸ごと外注化)です。

職場全体の反対が外注化を止める力

今回の問題は、検修・構内業務で働くすべての労働者の問題です。外注会社は経験も技術もゼロです。職場のみんなが反対することが外注化を阻止する力です。

検修職場を丸ごと外注化する提案に賛成し、労働者の出向を「成果」だと言い張る東労組を許さず、外注化反対の声をあげよう。

	職種	現行	提案	増減数
幕張車両センター	管理	15	16	+1
	車両	123	61	-63
京葉車両センター	車両	52	44	-8
習志野運輸区	車両	15	4	-11
銚子運輸区	車両	5	0	-5